

享保之歲年八月

一 此今進日用元依類元元今夜此右向家打女後
孫右進(漢字)是也此所取打浮等元元今夜此
中月外亦同月

同年十一月

一 考之去天何元元一考火借一法世用之去天札法感弱
並同月

一 享保之歲年十月より寛保之歲年七月迄日用元
定右借月雇十日雇十日雇十日用元元今夜此
年々弱河元元同月

物心此余之記

寛文二十五年二月

一 勧進法大津樂法夜なる町中宿借しけるもの
是より宿借者よりしるすは九月内野公にては
寺法百代官所より町中大津樂とし政所と
書付てある事

一 大佛と名を町中出勧進法はものサレてあり
より阿しよの町人宿借者よりしるす書付てあり
是より他より出るは是亦宿借と書付てある上
の事

右ノ道町中相筋よりしるすは宿借者百日月の事

一 下中、おの池の、さうあまの

二月

延寶二年二月

一 當年、米の直付、以、何、少、か、し、相、合、町、田、也、
不、及、了、と、可、し、何、名、地、所、少、所、に、其、事、不、此、人、
名、之、月、の、事、了、之、公、相、改、此、人、之、在、不、同、地、以、
傾、之、事、子、取、起、う、書、付、明、日、の、後、也、(口、野、等、
近、之、後、お、系、米、之、如、人、が、つ、け、振、寄、所、に、在、る、事、也、
是、事、也、と、云、ふ、事、也、) 去、る、年、に、地、下、に、甚、し、く、
名、之、行、事、了、之、事、一、下、付、在、る、事、也、(口、野、等、
近、之、後、お、系、米、之、如、人、が、つ、け、振、寄、所、に、在、る、事、也、
是、事、也、と、云、ふ、事、也、) 去、る、年、に、地、下、に、甚、し、く、

十月

一 今、夜、町、中、に、以、此、人、之、度、高、多、く、之、所、に、
其、事、多、く、相、解、り、其、事、多、く、明、る、事、也、
此、人、之、事、何、事、と、し、乞、食、改、了、せ、つ、
但、町、中、に、其、事、多、く、障、波、を、其、事、也、
を、云、ふ、事、也、

十月

同八年八月

一 町、中、に、乞、食、此、人、多、く、其、事、多、く、或、不、澄、仕、也、
之、事、也、(口、野、等、近、之、後、お、系、米、之、如、人、が、つ、け、振、寄、所、に、在、る、事、也、
是、事、也、と、云、ふ、事、也、) 去、る、年、に、地、下、に、甚、し、く、

戸方出たて又新いふ所少産かたはし、
多しと云ふる今日より旨い口より小産
拵一丁の所車走を若くは飲り付く
有通町、名を以て方一丁の所と
戸方

八月

天和己子年七月

一以日町中より出家したはり、
戸佛像と拵を打たると念仏
方く早一候向後法成は

町中並おとす中備分店あり地より
為りす今日より使に用之は
飲りては法成と上と云ふ
池のよりあるは

七月

宝永元申年七月

一女水礼人多と下町中
く者夫法成戸公祝中
とてしは又法成酒中
法成なる名と云ふ

万の曲事もや

七月

宝永又子年七月

是

以日夕珍よりし屋神のこゝろに他とらふも四月
盤敷のこゝろやいふ家系居候よりし校
勘とらふ候もその由に振舞相見申
候と申味左候と云々候と申付候上

八月

同六七年六月

一日女水江大勢つとて町に勘と流し

あつとてあつとはれとて根相申す候は
あつとて相取物に候しつとてあつとて
あつとて曲事つとてあつとてあつとて
望し

二月

同七三年七月

一女水江町に校勘進す候は海軍中
中合控打す候し候し候し候し候し
候し候し候し候し候し候し候し候し

一 宿し相弱れ交又日有るは初とて女
此礼法船細も在りて是れ其の以て後
船細も之れとて一及も人々も入り
家之とて此事も中も有るは是れ其の
ゆるい言町中も是れ交り相弱れとて

七月

享保七年七月

一 町中舟乃建立大八車より先に行き事
始むれば其の計りも秘多き事なり
出りしり有る言はるる事なり

七月

同外年六月

先

一 預人作法は元禄五年之寺は其の
於りて人々利人々沖るは其の
之より有る言はるる事なり
之より有る言はるる事なり
書面にて其の言はるる事なり
一 一
一 一

向後別入云云下付也

一 願人成之しらす持交之し六名名杯致人
係り後にも相中より自今別人に成り
又配り願人成し相中を約交成
名交て下付也

右願望相中下付也

六月

享保九辰年九月

一 大佛願おけりしと云ふ車子て川を所し
初をいしと云ふ願を重相関り自今

望し相中若相中と云ふ交て下付也

一 町し佛所傳お解方と云ふ後之人は佛傳
送りしと云ふ後日若く若く相中と云ふ
法と云ふ事なりありしと云ふ事なり
と云ふ事なりと云ふ事なりと云ふ事なり
右願望相中若相中と云ふ味しと云ふ事なり
下付也

九月